

新たな広域道路ネットワークに関する検討会 中間とりまとめ構成(案)

中間とりまとめ構成(案)と第1回検討会における主な意見

中間とりまとめ構成(案)

第1回検討会における主な意見

1. はじめに

2. 広域道路ネットワークに関する現状認識

(1) 新型コロナウイルス感染症による緊急事態宣言の影響

(2) 都市間の連絡状況

(3) 渋滞の発生

(4) 交通拠点へのアクセス

○交通結節点(空港、港湾、鉄道、バス等)を意識してネットワークを検討することが必要。

(5) 災害時におけるリダンダンシー

○東日本大震災で道路がつながっている重要性が認識され、そういった効果にも配慮が必要。

(6) インフラの老朽化

○災害だけでなく、インフラ老朽化に伴う大規模修繕による通行止めの影響を考慮することが必要。

(7) トラックの大型化への対応

○トラックドライバー不足が喫緊の課題であり、トラックの大型化に対応することが必要。

(8) 新技術の発展等の時代の変化

○データ活用によって、将来の混雑状況の予測技術を向上させ、ネットワークを考えていくことが必要。

3. 今後の広域道路ネットワークのあり方

(1) 上位計画との関係

(2) 基本戦略

1) 中枢中核都市等を核としたブロック都市圏の形成

○東京一極集中を是正するという理念に踏み込むことが必要。

2) 我が国を牽引する大都市圏等の競争力や魅力の向上

3) 空港・港湾等の交通拠点へのアクセス強化

○物流は複数圏域を跨ぐものもあり、他モードも含めた物流の大きな流れを踏まえることが必要。
○物流は空港・港湾に加え、生産・物流拠点とのネットワークやラストワンマイルも考慮することが必要。

4) 災害に備えたリダンダンシー確保・国土強靱化

○リダンダンシーは、ネットワークのシェープからみて、代替性がないところをピックアップすることが必要。
○脆弱性(通行止めの影響)は、その道路の交通量も踏まえて考えることが必要。

5) 国土の更なる有効活用や適正な管理

○従来の道路ネットワークの計画は、半島地域はあまり計画がきちんとしていなかった。
○南海トラフ地震等の太平洋側の災害が懸念されるため、日本海側にルートを確保することも重要。

(3) 広域道路ネットワークの階層

○旅客フローと物流でみた重要なリンクが必ずしも一致しない場合もあり、それを考慮することが必要。
○高規格幹線道路とその下の特定広域道路や広域道路との使い分けを考えることが必要。

(4) 広域道路ネットワークに求められる機能・役割

○広域道路ネットワークはサービス水準の強化だけでなく、老朽化対策を優先的に行うことも必要。
○脆弱性はフィジカルに単に壊れにくいだけでなく、再生しやすい等の様々な要素の考慮が必要。

(5) 具体のネットワークを検討する上での視点

○長期的な視野でインフラ投資を考えることが必要。
○需要追従型ではなく、道路側から国土形成に働きかけるような需要誘導型への転換が必要。
○自動運転や他モード(カーシェア、鉄道、船舶等)との連携・役割分担も道路計画を考える上で重要。

4. おわりに